

ENEROID EN20D
自動充電器

取扱説明書



このたびは自動充電器「EN20D」を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
安全に正しくお使いください。

Ver.1.1

発売元：  Kenko Tokina Co., Ltd.
株式会社 ケンコー・トキナー

■本 社 〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコー・トキナー ホームページ <http://www.kenko-tokina.co.jp/>

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 製品本体および取扱い説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を事前に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中止など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品改良のため、予告なく製品仕様を変更することがあります。

警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されることを示します。

- | | |
|--|--|
| | 装置内に手や指を入れないこと
巻き込まれてケガをする恐れがあります。 |
| | 通電中は、上部カバーを開けないこと
異物が入ったり、ケガ、故障の原因になります。 |
| | 充電池以外のものを入れないこと
故障、火災の原因になります。 |
| | 使用しないときは必ず全ての接続箇所を取り外し
安全な場所に保管すること。
火災、感電、故障、事故の原因となります。 |
| | 充電器は AC100V の電圧で使うこと
異常な発熱・感電・火災・故障の原因となります。 |
| | 充電池に水分、汚れ、ほこりが付着している場合は、
拭き取った後、充電挿入室にセットすること。
異常な発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。 |
| | 充電池・充電器に異常な発熱・発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した時は、すぐに次の作業をおこなうこと
1. 充電中であれば充電器をコンセントから抜く。
2. 冷えたのを確認し、充電池を取り外す。そのまま使用（充電）すると、充電池が異常な発熱・破裂・発火する原因となります。 |
| | USB コネクタを接続する際は必ず接続する向きを確認し、
無理に逆向きで接続しないこと。
またコネクタの抜き差しはコネクタ本体を持って行うこと。
コネクタの破損、ショート、断線、火災、故障の原因になります。 |

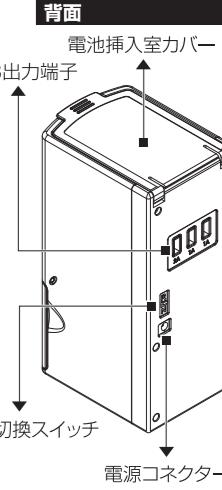
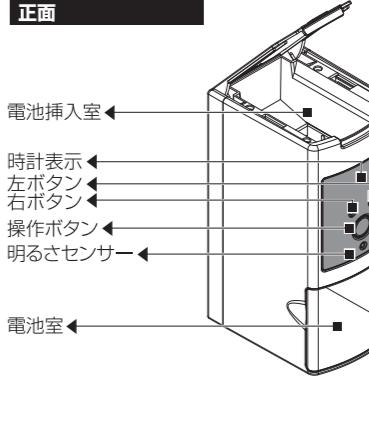
危険

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあります。

- | | |
|--|---|
| | 充電池・充電器を落としたり、強い衝撃を与えないこと
充電池・充電器が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。 |
| | 電子式変圧器に接続しないこと
充電器の電源として使用すると異常な発熱、発火の恐れがあります。 |
| | 充電池・充電器を分解・改造・修理しないこと
充電池・充電器での火災・感電の原因となります。 |
| | 充電池・充電器を火の中に入れたり、加熱しないこと
充電池が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。なお、水にぬれた場合でも加熱用機器などで強制的に乾燥させないでください。 |
| | 充電池・充電器を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用・放置しないこと
充電池・充電器が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。 |
| | 充電池・充電器を水や汗、海水、薬品などで濡らしたり、かかる恐れのある場所に置かないこと
充電池・充電器が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。
万一、本製品に液体がかかってしまった場合は、直ちに電源を抜いてください。 |
| | アルカリ電池・マンガン電池など充電式ではない電池は絶対に充電しないこと
充電池が漏液・異常な発熱・破裂・発火する原因となります。 |
| | ニッケル水素・ニカド充電池以外は絶対に充電しないこと
充電池が漏液・異常な発熱・破裂・発火する原因となります。 |

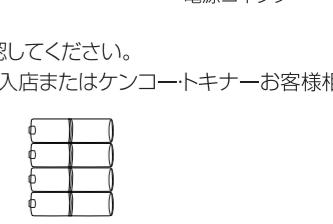
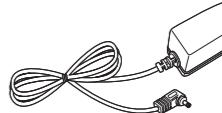
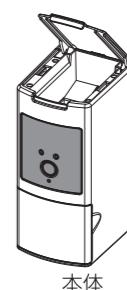
各部の名称

正面



本機の紹介

以下のセット内容が揃っているかご確認してください。
万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコートキナーお客様相談室までお申し付けください。

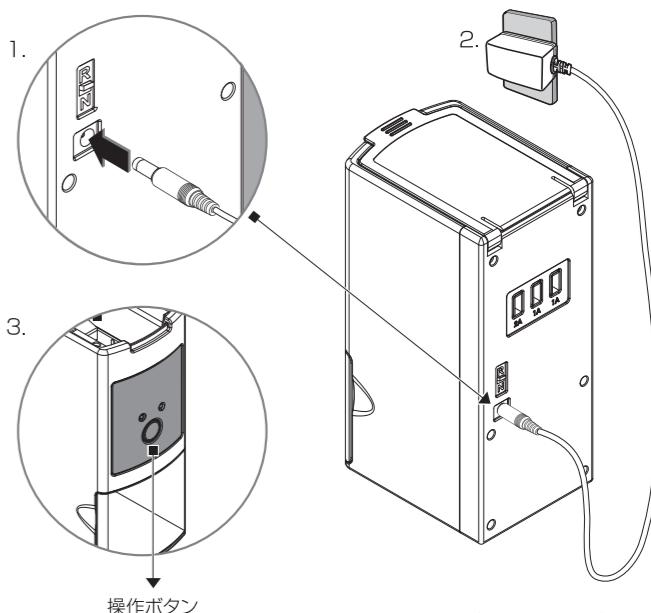


※一部形状が異なる場合があります。

電源(ACアダプター)の取り付け

本機と付属のACアダプターを接続します。

- ACアダプターケーブル先端のコネクターを本機に接続します。
- ACアダプターをコンセントに接続します。
- 接続後、電源がオンになり、操作ボタンが青く点灯し、
スタンバイモードになります。
電源オン後、約5分間操作がないと自動的に電源オフになります。
再度、操作ボタンを押すと電源がオンになり、作動を開始します。
- 電源をオフするにはACアダプターを本機から取り外します。
使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから取り外してください。



※一部形状が異なる場合があります。

EN20Dについてのお問い合わせは

ケンコー・トキナーお客様相談室

フリーコール(無料) ※海外からおよびIP電話では接続できません

 0120-775-818

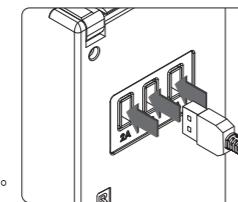
携帯電話・PHS・IP電話をご利用の場合（通話料がかかります）

03-6840-3389

●受付時間 9:15 ~ 17:30 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休業等を除く)
※本ダイヤルでの通話は、応対品質向上のため録音させていただいております。

■USB出力端子の取り付け

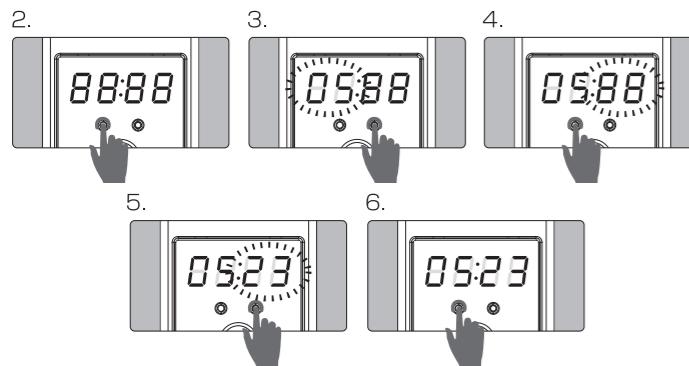
- 本機USB出力と外部機器を接続し、
外部機器に給電します。
USB出力は2AX1ポート、1AX2ポートです。
- 充電状態はそれぞれの外部機器でご確認ください。
 - スマートホン、携帯の一部機種は出力ポートによって充電できない場合があります。あらかじめご了承ください。
 - ※一部形状が異なる場合があります。



■時計表示

本機の時計表示の時刻調整を行います。

1. 本機の電源をオンにします。
2. 左ボタンを約2秒押します。
3. 時表示が点滅します。右ボタンを押して「時」を設定します。
4. 左ボタンを押すと「時」が確定し、分表示が点滅します。
5. 右ボタンを押して「分」を設定します。
6. 左ボタンを約2秒押すと時刻設定完了です。



■操作ボタンの点灯表示

操作ボタンの点灯表示を紹介します。

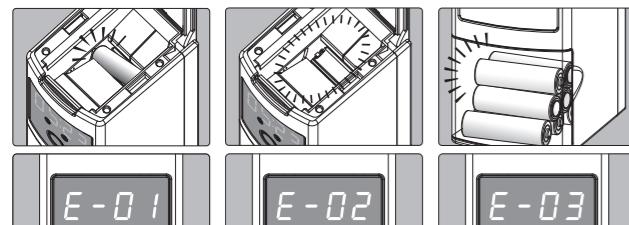
表示	状態
青色点灯	スタンバイ状態です。
赤色点滅	充電中です。
緑色点滅	リフレッシュ中です。
青・赤色交互に点滅	電池挿入室内に電池／充電池が詰まっています。電池挿入室内に電池／充電池が挿入されていません。
紫色点滅	充電池を排出中です。

※本機を暗所で使用する場合「明るさセンサー」が作動し、点灯濃度を暗く調整します。

■エラー表示

エラー表示は下記のとおりです。

エラー表示 E-01 エラー表示 E-02 エラー表示 E-03



電池挿入室の電池が詰まっている場合、電池挿入室内に電池が入っていない場合、E-01を表示します。電池室内に電池が一杯になったときE-02が表示します。

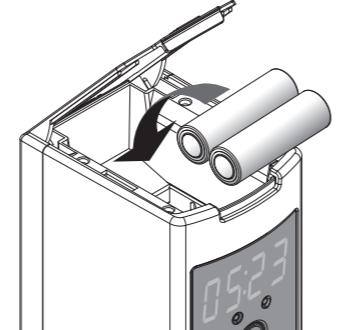
電池挿入室の電池が詰まっている場合、電池挿入室内に電池が入っていない場合、E-01を表示します。電池室内に電池が一杯になったときE-02が表示します。

電池室内に電池が一杯になったときE-03を表示します。

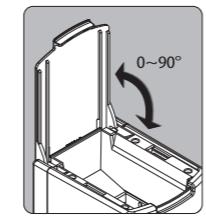
■充電池を電池挿入室にセットする

本機に充電池をセットします

1. 本機の電源をオンにします。
2. 電池挿入室カバーを開いて充電池を横に並べて挿入します。電池の $\oplus\ominus$ を揃える必要はありません。
3. 電池挿入室カバーを閉じます。
- 充電池を入れすぎると電池挿入室カバーが閉まらない可能性があります。カバーが閉まらない場合は、充電池を抜いて閉まるようにしてください。



電池の $\oplus\ominus$ 方向は同方向、違方向での挿入が可能です。



電池挿入室カバーは0~90°の範囲内で開いてください。90°以上の角度で開くとカバーの破損の恐れがあります。

■充電時間の目安

電池タイプ	電池容量(例)	充電時間の目安
ニッケル水素及びニカド単3形充電池 4本の場合	950~1000mAh	約35~40分
	1900~2000mAh	約60~80分
	2400~2500mAh	約75~100分

●上記は目安ですので、電池の状況や本数により充電時間が変動することがあります異常ではありません。充電終了のサインが出るまでお待ちください。

■スリープモードについて

スタンバイモードのまま約5分操作がないと、自動で電源が切れます。スタンバイモードにするには操作ボタンを押してください。

■乾電池について

乾電池を充電することはできません。ENEROIDに乾電池を入れた場合、自動で検出し、充電せずに排出します。

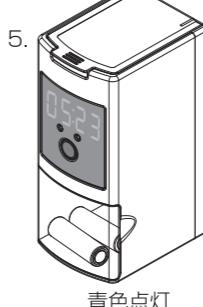
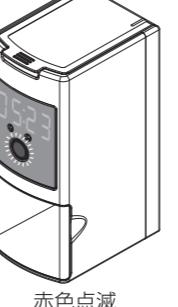
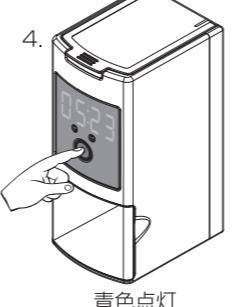
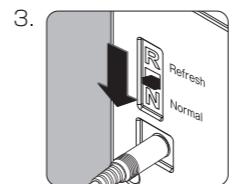
■ご使用上の注意

- 充電池の充電とUSB出力から外部機器への給電を同時にすることはできません。あらかじめご了承ください。
- 外部機器としてAndroid携帯、iPhone、iPadをご使用の場合、各機器の純正ケーブルをお使いください。
- 本製品のUSB出力端子はすべての外部機器への給電を保証するものではありません。

■充電池を充電する

本機で充電池を充電します。

1. 本機の電源をオンにします。操作ボタンが青色に点灯します。
2. 充電池を電池挿入室にセットします。
3. 本機背面の「モード切換スイッチ」をNormalにします。
4. 操作ボタンを押します。操作ボタンが赤色に点滅し充電が開始されます。
5. 充電を終了した充電池から電池室に移動します。充電動作を終了すると操作ボタンが青色に点灯します。電池室が一杯になる前に充電池を取り出してください。
- 充電池が熱くなっていることがあります。電池の温度が下がってから電池を取り出してください。

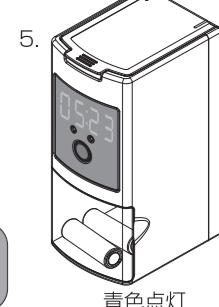
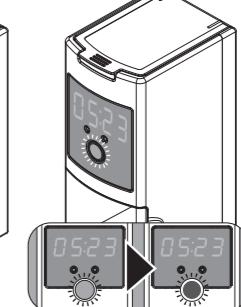
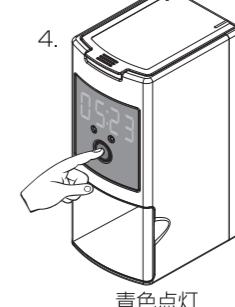
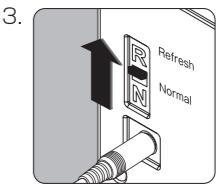


■充電池をリフレッシュする

本機で充電池をリフレッシュします。

リフレッシュ後はフル充電にはなりません。あらかじめご了承ください。

1. 本機の電源をオンにします。操作ボタンが青色に点灯します。
2. 充電池を電池挿入室にセットします。
3. 本機背面の「モード切換スイッチ」をRefreshにします。
4. 操作ボタンを押します。操作ボタンが赤色点灯から緑色の点滅に変わりリフレッシュが開始されます。
5. リフレッシュを終了した充電池から電池室に移動します。リフレッシュ動作を終了すると操作ボタンが青色に点灯します。電池室が一杯になる前に充電池を取り出してください。
- 充電池が熱くなっていることがあります。電池の温度が下がってから電池を取り出してください。



■保証規定 保証期間:ご購入日より1年

【お願い】修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

(1)修理の際は必ずお買い上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。

(2)修理箇所は明確にご指摘ください。

(3)お買い上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。(下記①~⑧など)

①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障 ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障 ③火災や浸水、天災によって生じた故障 ④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障 ⑤その他類似の起因による故障 ⑥消耗品(充電池等)のお取り替え ⑦落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などによる故障 ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合

(4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。

(5)レシートは大切に保管してください。

(6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。

(7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。充電池の破損などに関しては一切の責任を負いかねます。

(8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

(9)本保証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

(10)本保証は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■個人情報について

※修理を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。

●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業・務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。